

科目名	英語教育方法論特講	担当者	ロックリー トーマス	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>内容言語統合型学習 (Content and Language Integrated Learning (CLIL))は、第二言語の語彙力とコミュニケーション能力を養うことができるようになることを目的とする。この学習方法は、世界中のより多くの国で取り入れられてきています。CLILの特徴は、時事問題や異文化理解についてのトピックに触れ、共同学習を通し、言語知識・スキルを高めるだけでなく、様々な思考力を育成できることである。</p> <p>このコースで受講者は、CLILの理論について学び、実際の学習環境において自身で授業計画を作成し、振り返られるようになる。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 CLILの理論と学習環境での実際の実践について学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) CLILの基盤となる概念枠組みを説明できる。</li> <li>2) CLILがどのように受講者の学習状況で使用されるか、または使用される可能性があるかを説明できる。</li> <li>3) CLILの概念的枠組みを使用して、受講者はCLILの実践例が書かれている論文を読み調べ、2つ(あるいは3つ)の事例を要約し、CLILとしての妥当性などを講評する。そして自身の教育環境や状況に対応するCLILレッスンを計画し、計画についてレポートを執筆する。</li> <li>4) CLILの理論と実践について学んだことを振り返る。</li> </ol>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・manaba folioのコレクションを利用して、インタラクティブな個別指導を受ける。</li> <li>・図書館、インターネットで自律的に論文を検索して、レポートを作成する。</li> </ul> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>(自習) 教材の熟読、さらに、オープンエデュケーション教材 (Open Educational Resources: OER) (例 academia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等) による自律的学習</p> <p>(自主研究) 参考文献の検索と熟読</p> <p>(レポート作成) レポートの作成・教員によるコメントにレポート推敲</p> <p>【学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。</p> <p>1) 教材の学修: 20時間    2) レポート執筆: 10時間    3) レポート推敲と最終の完成 (教員の添削指導): 15時間</p>		
スケジュール	<p>&lt;前期&gt; ・レポート課題1 締切: 6月末 (初稿) 前期締切日 (最終稿)</p> <p>・レポート課題2 締切: 8月末 (初稿) 前期締切日 (最終稿)</p> <p>&lt;後期&gt; ・レポート課題1 締切: 10月末 (初稿) 後期締切日 (最終稿)</p> <p>・レポート課題2 締切: 12月末 (初稿) 後期締切日 (最終稿)</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	論旨明確さ、独創性、構成、文章表現の妥当性、引用の適切性等 ★前期レポート課題1, 2と後期レポート課題1は最終稿で評価する。 ★後期レポート課題2は最終試験として初稿で評価する。
	観察記録	20%	レポート添削への対応等
履修者への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 積極的な態度でCLILにアプローチすること。</li> <li>2) 批判的な態度で実践的な計画を考える。全てが完璧であることを期待しないようにしましょう。</li> <li>3) レポートは担当教員のフィードバックのよる書き直しを繰り返しながら(特に英文の場合) 最終稿が締め切りに間に合う様、計画的に進めること。締め切りに変更が必要な場合は担当教員まで連絡する。</li> <li>4) 日本の教育現場で英語を教える受講者は、英文でレポートの作成を行うこと (不可の場合は日本語でも可。)</li> </ol> <p>！重要！後期に使用する教材は早めに購入すること。購入が難しい場合は担当教員にメールで相談すること。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名 : Do Coyle, Philip Hood, David Marsh 教材名 : CLIL - Content and Language Integrated Learning (Cambridge University Press, 2010) 約 4 4 0 0 円 (税込み)
	この本は CLIL に関する包括的な概要を提供しています。この理論をまとめ、実際の実践について説明しています。
参考図書	1) CLIL 新しい発想の授業 - 理科や歴史を外国語で教える!?! - 笹島 茂 他 (三修社、2011年) 2750円 (税込み) 2) OER (例 academia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等)
履修上のポイント	CLIL の概念的枠組みは、柔軟な方法で言語指導と学習改善を提供している。受講者は常に、CLIL について学んだことを自身の環境や状況に関連付けるように心がけること。
レポート課題 1	基本教材 1 Chapter 1 ~ Chapter 4 を読んで、CLIL の概念的枠組みについて解説する (英語 1500-2000 words、日本語 3,000 字~4,000 字)。 <b>留意点</b> : 参考図書と OER で探した文献も参考に、CLIL の授業法を考える。
レポート課題 2	基本教材 1 Chapter 5 ~ Chapter 8 を読んで、CLIL が学習環境でどのように使用されるか、または使用される可能性があるかを説明する。 (英語 1500-2000 words、日本語 3,000 字~4,000 字)。 <b>留意点</b> : 参考図書と OER で探した文献も参考に、CLIL の授業法を考える。

基本教材 2	
教材の概要	著者名 : Liz Dale and Rosie Tanner 教材名 : CLIL Activities with CD-ROM: A Resource for Subject and Language Teachers 約 4 4 0 0 円 (税込み)
	この本には、順序関係なく使用できる幅広い CLIL アクティビティが含まれている。付属の CD-ROM には、印刷可能な CLIL アクティビティが入っている。受講者は、自分の CLIL レッスンを計画するのに役立つアイデアと活動を活用することができる。
参考図書	1) CLIL(内容言語統合型学習):上智大学外国語教育の新たなる挑戦 第3巻 授業と教材。 和泉 伸一 (ぎょうせい, 2016年) 1760円 (税込み) 2) Understanding Language Classroom Contexts - The Starting Point for Change. Martin Wedell and Angi Malderez (Bloomsbury, 2013) 約 3 8 0 0 円 (税込み) 3) OER (例 academia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等)
履修上のポイント	参考図書や論文をできるだけ参照して、自分の現場を念頭に置いた授業計画を考案する。
レポート課題 1	基本教材 Part 1 ~ Part 3.6 を読んで、学習した CLIL の概念的枠組みを使用して、環境や状況にに合わせて CLIL 授業計画作成する、および CLIL の実践例を批判的に分析する。 (英語 1500-2000 words、日本語 3,000 字~4,000 字)。 <b>留意点</b> : 参考図書と OER で探した文献も参考に、CLIL の実践を考える。
レポート課題 2	参考図書 3 「OER から調べた 2 つの論文」を読んで、CLIL の理論と計画を作成して学んだことを振り返る。 (英語 1500-2000 words、日本語 3,000 字~4,000 字)。 <b>留意点</b> : OER で探した文献も参考に、CLIL の実践法を考える。

### 基本教材 1

第 1 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 1
第 2 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 2
第 3 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 3
第 4 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 4
第 5 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 8 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 5
第 9 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 6
第 10 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 7
第 11 回	教材の学修：基本教材 1 Chapter 8
第 12 回	OER による研究論文の検索と分析（例 adamemia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
第 13 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成

### 基本教材 2

第 1 回	教材の学修：基本教材 2 の Part 1 と Part 2 の学修
第 2 回	教材の学修：基本教材 2 の Part 3.1 と Part 3.2 の学修
第 3 回	教材の学修：基本教材 2 の Part 3.3 と Part 3.4 の学修
第 4 回	教材の学修：基本教材 2 の Part 3.5 と Part 3.6 の学修
第 5 回	OER による研究論文の検索と分析（例 adamemia.edu, researchgate.net, J-CLIL Journal 等）
第 6 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 9 回	CLIL の実践例を論文で調べて、1 つの事例を要約し、CLIL としての妥当性などを講評する。
第 10 回	CLIL の実践例を論文で調べて、1 つの事例を要約し、CLIL としての妥当性などを講評する。
第 11 回	授業計画
第 12 回	授業計画
第 13 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成